

Marcela Present's 徳島聖テモテ教会から愛をこめて

も テモテ通信

Vol.13 2023 Easter 号

Happy Easter! 🐣🥚🐣



主のご復活おめでとうございます！！

「復活」を辞書で調べると、①生き返ること。よみがえること。蘇生。②いったん廃止、停止していたもの、または破壊されたものなどがもとどおりになること。もとの状態にもどること。再興。復興。③キリスト教で、十字架上で死んだイエス=キリストがよみがえったことをいい、キリスト教の最も中心的な信仰内容。イエスの復活は罪と死に対する勝利であり、神の愛による人類の救いの完成という意味をもつ。(デジタル大辞泉)とあります。③の信仰を持つわたしたちには、②を体験することがあります。(残念ながら、①を経験された方に、わたしはまだお会いしたことがありません。)

困難な状況に陥ったとき、それを受けとめることで、立ち上がることができる大きな力を得ることがあります。病気やケガからの復活は、医療の力です。でも、治療に耐えられる力を得たとき、もしくは大きな決断をするとき、必ず復活のイエスが共にいると感じます。その際の「復活」は「もとどおりになること」とか、「もとの状態にもどること」とは少し違うように思います。見た目には「もとどおり」だったとしても、その内側にはイエスがともにいてくださる分、以前より強くなっているのではないかと思います。

【大齋節（2月22日～4月8日）】



2月22日 大齋始日（灰の水曜日）

ロシアのウクライナ侵攻もコロナ禍もおさまらないままで、今年もこの日から大齋節が始まりました。心から平和を願い求めます。今年も「課題図書」を作ろうと思っていましたが、何も出来ないまま過ぎてしまいました。

3月4日 ペテロ古本真二郎さん納骨式

昨年クリスマス前に亡くなられた古本真二郎さんの納骨式をテモテ教会墓地で行いました。

真二郎さんのご家族と、元木園恵さん、武市正大さんがいらして下さいました。穏やかな日でよかったです。写真は武市さんに撮っていただきました。



3月19日 中村家御一行様訪問

神戸教区前主教、中村主教のお嬢さん3人が、ご家族を連れて日曜日の礼拝に参列されました。礼拝前、2階の礼拝堂から子どもたちがパタパタと走り回る音が聞こえてきて、それはとても幸せにしてくれました。礼拝のときも、子どもたちにお祈りをする宮田せんせえの姿を見て、こんなシーンをもっと見たい!と思いました。

3月21日 徳島伝道区信徒研修会
「南海トラフ地震に備えて」

講師 林和広司祭

2022年9月に予定していたのが、台風で延期になり、この日になりました。

阪神淡路大震災からの教区の関わりと今後災害が起きたときの関わりについて、お話を伺いました。



4月2日 復活前主日

毎年、この日は自分を振り返る日です。入堂聖歌に聖歌137番「ユダのわらべの」を歌い、シュロを持って行進し、イエスを「ホサナ、ホサナ」と迎え入れる。にも関わらず、もう聖書朗読の際には「十字架につけろ!」と叫ぶ。今の「わたし」はどこにいるだろう、と考えさせられます。群衆の熱気に乗じて一緒になって叫ぶのか、迫害が怖くて逃げて

しまう弟子なのか、固唾をのんで見つめている女性なのか。銀貨をもらって師を裏切るユダなのか…。想像しながら聖書を読むと、考えさせられます。

【イースター（4月9日）】

キリスト、復活！実に、復活！！ハレルヤ！！

徳島聖テモテ教会でも、「復活」したことがありました。礼拝中の聖歌が4曲！に戻りました。そして、記念撮影。



テモテ教会 より

☆「教会の今後を考える会(仮)」から「ひかりカフェ」へ。

宮田せんせえが（わたしも）富岡に行く第1日曜日は、信徒によるみ言葉の礼拝のあと、おしゃべりをする時間を持っています。その場の名称が「ひかりカフェ」になりました。

☆西日本宣教協働区 祈りの集い 5月16日午後5時

神戸教区、九州教区、沖縄教区の西日本協働区では、合同の夕の祈りの時間を持っています。次回は5月16日午後5時からです。担当は神戸教区なので、どうぞ皆さんご参加ください。Zoom参加ということですが、その時間にテモテ教会にお越しくだされば、一緒に参加できるようにいたします。

☆オンライン礼拝

毎日曜日の礼拝は、オンラインで参加できます。

ミーティングID 864 7089 7046 パスコード 481359



zoom

失われた情熱の復活

うつ病によるさまざまな意欲の消失と、東日本大震災による存在の意味の刹那、さらにスマートフォンのカメラ性能の向上によって「写真を撮る」という行為への熱意が失われていってしまった。その間も子どもたちの成長を記録して、妻の笑顔を記録することは続けていたけれども「撮る」という情熱自体は失われていた。何台も一眼レフカメラやレンズを所有して、出歩くときは常にカメラを持っていたときの情熱、あの情熱はもうやってこないものだと思っていた。昨年、動画撮影をするために最新のミラーレスカメラを買ったが持て余していた。あるときYoutubeで、その最新のカメラに古いレンズを取り付けて撮影できるということを知った。1960年代のレンズや旧ソ連やドイツのレンズ、写ルンですのレンズ、ありとあらゆるかつてのレンズを使って、最新のデジカメで撮影できることを知り、色々とレンズを集めては「写真を撮る」行為を楽しんでいる。今では、外出するときにはかつてのように出来るだけカメラを持ち歩く習慣が復活している。

フィルムカメラの時代は、現像してプリントするまで撮影結果が判らなかったが、デジカメの今はその場で撮影結果が判り、何枚でも撮影できるために、かつてよりも思った通りの撮影ができる。そしてプリント代も不要。フィルム時代はミノルタカメラを愛用し、デジカメになってからニコンへ、そしてキャノンと渡り歩いて今はソニー。古いレンズはメーカーが変わると使えないためにそれぞれのレンズは長い間、押し入れの肥やしになっていた。それを今になって、10年いや20年・30年の年月を経て目の目がくることになるとは私も思ってもいなかったし、レンズたちも思ってもいなかっただろう。その中には、あの宮崎美子がCMをしていたカメラのレンズもある！

もっぱら妻を撮影することを楽しんでいる。脳内イメージにある美しい妻を撮るためには新しいカメラが必要かもと余計なことを考えながら。



1970年のレンズで撮影したスナップ

イースターの日に発行したいと考えていたのですが、伸びてしまいました。その間に、何人かの方から「モチモチ通信、楽しみにしています」と言っていただきました。神さまからの「ちゃんと発信しなさい」というメッセージだと思いました。夫のように人前で「語る」ことは苦手なのですが、文章にすることならば、筆は遅いですがなんとかなるのかな？と思うので、これからもわたしなりのペースで「発信」していこうと思います。